

インドネシア水道に係る情報収集 No. 190101W

検索サイト	Google	実施日	2019/01/14	実施者	T.Masuoka
検索方法：「Indonesia Water supply」で検索					
URL: https://www.dandc.eu/en/article/forests-can-store-water-droughts-example-indonesian-villages					
標題：Bamboo means water					
<p>題名；竹、即ち水</p> <p>内容：竹林が、水源を保全し干ばつにも強いなど、竹林の持続可能な管理の必要性について紹介。</p> <p>(竹は、雨季には水分を吸収して中空の節に貯蔵し、乾季に放出する性質がある)</p> <p>① インドネシアは、世界 6 位の竹生産国。手工芸品産業の原料として使われていた。1980 年～2000 年に、竹林の伐採が進み、森が減少するにつれ、水の枯渇が進む。☆2018 年の乾季には、4,000 以上の村が干ばつ、農作物の不作、安全な水の不足を経験（インドネシアの国家防災庁（BNPB）のデータによる。）</p> <p>② 竹林により水の保全に成功している村（Sumbermujur 村）の例を紹介。</p> <p>14 ヘクタールの竹林が水源を取り囲むことにより、水が枯渇することはない。乾季（4～10 月）水の流量は毎秒 600 リットル（約 50,000 m³/日）。雨季（11～3 月）水の流量は毎秒 800 リットル（約 70,000 m³/日）に増加。7,000 人の村人に安全な飲料水を提供し、436 ヘクタールの水田を灌漑。周辺の 3 つの村にも分水。</p> <p>一時、竹林の減少により、水の枯渇が見られたが、いち早く竹を植え直し、水不足を解消できた。</p> <p>結論；竹林の持続可能な管理が必要。</p> <p>コミュニティ所有の森林は貴重であるが、ますます伐採の脅威にさらされている。（人口の増加と資源需要の増大にいかに対処するかが課題。）</p>					
備考；					